

環境省が直轄事業として整備

国立公園満喫プロジェクト

事業目的

世界水準の「ナショナルパーク」実現を目指して整備を進めます。特に、先行的、集中的に取り組を進めることとして、8つの国立公園においては「ステップアッププログラム 2020」（平成 28 年 12 月策定）に基づき、訪日外国人を惹きつけるためのビジターセンターの再整備や歩道等の整備を実施します。

8つの国立公園

阿寒、十和田八幡平、日光、伊勢志摩、大山隠岐、阿蘇くじゅう、霧島錦江湾、慶良間諸島

事業内容

- 利用者目線でのビジターセンターの再整備
- 景観・自然に徹底的に配慮した展望地、自然歩道等のビューポイントの整備
- 国立公園への誘導案内の整備

整備イメージ



国立公園バリューアップ事業 (地域自然資源活用重点整備運営事業)

事業目的

国立公園の保護及び利用上重要な一定のまとまりある地域を対象に、重点的な施設の整備と運営管理の抜本的向上を図り、自然資源を活用した観光の促進と地域の活性化を推進します。

事業内容

- 重点的な施設の整備**
- 地域特性やニーズに合った利用者のための施設の整備
 - 自然資源を維持するための生態系再生・維持・回復施設の整備
- 運営管理の充実**
- 施設を安全・適切に利用するための点検・修繕等
 - 施設における自然体験活動の充実等の施設の十分な活用

整備イメージ



集団施設地区等景観再生事業

事業目的

国立公園の利用拠点である集団施設地区を中心とする地域において、老朽化施設の再整備や国有地内の廃墟の撤去をはじめとして、観光客が集まる地域にふさわしい施設とするための整備を実施します。

事業内容

- 老朽化施設の再整備
- 修景のための整備
- 国有地の廃屋の撤去

整備イメージ



人と自然が共生する国立公園重点整備事業

事業目的

観光道路やロープウェイ等により多くの公園利用者が訪れる山岳地域及びその周辺フィールドにおいて、利用者による自然生態系への影響を軽減し、適正かつ質の高い利用等を促すための整備を重点的に実施します。

事業内容

- 登山道や展望施設等の整備
- 利用の適正化を促すための施設（登山口ゲート、案内板等）
- 生態系の保全（植生復元事業、し尿処理対策等）

整備イメージ



観光立国に向けた公園利用施設のユニバーサルデザイン等導入促進事業 (国立公園内外の誘導案内施設整備)

事業目的

訪日外国人を含む観光客等の利用環境を向上させるため、国立公園へのアクセスルートにおいて、誘導案内の多言語化等の整備を重点的に実施します。

事業内容

- 車道、園地、主要な利用拠点における多言語標識等の整備
- ビジターセンター内の展示（多言語の案内板、情報板等）の整備

整備イメージ

